

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6 年 8 月 26 日 更新

事務事業名		企業等連絡協議会運営支援事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	6	産業の健康			所属部	産業振興部	課長名	榮 峰男
	施策	28	企業誘致の促進と働く場の確保			所属課	商工振興課	担当者名	境 真奈美
	施策の柱	73	異業種連携の促進			所属班	企業立地支援班	(内線)	5214
予算科目		会計一般	款 7	項 1	目 3	事業連番 10318	根拠法令		
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	合志市内に立地する企業等で組織する合志市企業等連絡協議会が、実施する意見交換・交流事業等の活動支援を行い加盟企業の発展とイメージアップを図るとともに合志市をアピールする。合併を機に旧合志町で設立されていた「合志町誘致企業等連絡協議会」の規模を拡大し、平成18年度新たに設立した。
【業務の流れ】	・各企業担当者との調整、通知発送、事業開催。 ・補助金申請書受理、内容審査、交付決定、支払、実績報告受領、精算
【主な予算費目】	補助金
【意見や要望】	特に寄せられていない。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) 会員の交流(賀詞交換会)や親睦(スポーツ交流会等)、会員研修会、地域貢献活動(市内中学生の職場体験事業等)、国県等への道路整備要望に対する支援を行った。 また、合志市企業等連絡協議会へ補助金を交付した。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 本年度も引き続き前年同様の活動を展開していく。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 人	予算の主な増減の理由
→ ア: 協議会主催事業への参加者数		
→ イ:		
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 社	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
市内企業等		→ ア: 会員数
		→ イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) 件	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
市内企業間の連携が図られる		→ ア: 協議会主催事業の回数
		→ イ:
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
成果指標は前年度実績を基に数値を設定した。		全体計画 ~ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込
① 活動指標	人	人	150	406	600	667	600	600	600	600
② 対象指標	社	社	79	79	80	79	81	81	81	81
③ 成果指標	件	件	7	7	10	7	10	10	10	10
投資入費量	事業費	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
		一般財源	千円		900	900	900	900	900	900
	人件費	(A) 事業費計	千円	0	900	900	900	900	900	900
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正職員従事人数	人	4	3	0	3	0	0	0
人件費	延べ業務時間	時間	710	730	0	636	0	0	0	0
		(B) 人件費計	千円	2,776	2,778	0	2,316	0	0	0
	トータルコスト(A)+(B)		千円	2,776	3,678	900	3,216	900	900	900

事務事業名	企業等連絡協議会運営支援事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は 5 年度の後評価、ただし複数年度事業は 5 年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5 年度目標達成度評価	☒ 達成した ☐ 達成しなかった ⇒【理由】 研修会、スポーツ観戦会、スポーツ交流会をはじめとした年間事業を全て開催することができた。
	② 6 年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 協議会で実施するものが恒例行事として浸透してきたため達成の見込みはある。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 協議会会員の意見交換の場をより多く持つことで、協議会内の連携を図ることが可能になる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 他に類似する事務がない。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 限られた予算の中で運営を行っており、コストを見直しながら事業の充実を図っているため、削減余地はない。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 職員が兼務により協議会運営事務を担っており、これ以上の削減余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 協議会の活発な活動により、経済活動の促進を図り、税収の増加及び雇用の場の確保が図られるため公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☒ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☐ 役割分担は適正である ⇒【理由】 事務局を市で行っているが、会員の協力を得て、事業運営負担の一部を担ってもらうことができれば見直し余地はある。

3 評価結果の総括（CHECK）

熊本地震や新型コロナウイルス感染拡大の際には、協議会のネットワークを通じて企業の被害状況や取り組み状況の情報交換を行なうことができた。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可 ☐廃止 ☐休止 ☐目的再設定 ☐事業統廃合・連携 ☐事業のやり方改善（有効性改善） ☐事業のやり方改善（効率性改善） ☐事業のやり方改善（公平性改善） ☐現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）				(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table><tr><th colspan="2" rowspan="2"></th><th colspan="3">コスト</th></tr><tr><th>削減</th><th>維持</th><th>増加</th></tr><tr><td rowspan="3">成果</td><td>向上</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>維持</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>低下</td><td></td><td></td><td></td></tr></table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																										
		削減	維持	増加																								
成果	向上																											
	維持																											
	低下																											
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策																												